

(2) 想定する地震について

南海トラフを震源とする南海地震は、これまで概ね100年から150年ごとに発生し、本県は繰り返し大きな被害を受けてきました。また、南海トラフでは、南海地震だけではなく、東海地震や東南海地震なども発生します。その上、過去には何度もこの3つの地震が連動して発生しており、西日本の太平洋側はそのたびに大きな被害を受けています。

1946年(昭和21年)に発生した昭和南海地震からは66年が経過し、本年5月に国から示された南海トラフ地震の発生確率*は、今後30年以内で60~70%となっています。

このように、周期的に発生し、切迫度も高まってきている南海トラフ地震ですが、過去に発生した地震の規模や発生場所は様々であり、次に起きる地震を特定することはできません。

このため、本県の南海トラフ地震対策を進めていく上で、対策に幅を持たせて万全を期していくために、規模の異なる2つの地震を想定することとします。

※南海トラフの地震活動の長期評価(第二版)平成25年5月24日地震調査研究推進本部地震調査委員会

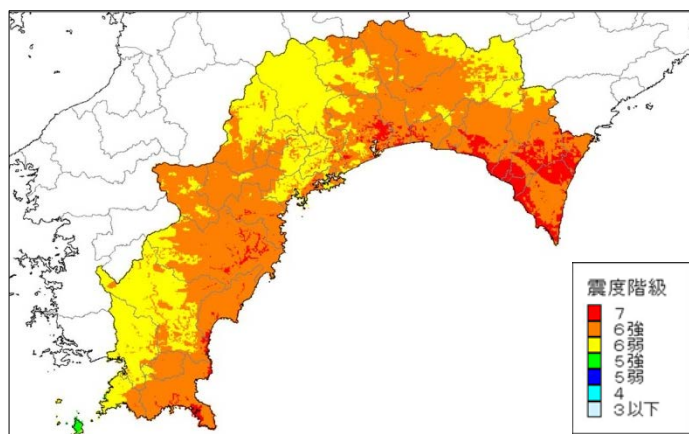
ア 発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの地震・津波

国が東日本大震災の発災を受け平成24年3月以降に公表した南海トラフ沿いで発生する最大クラスの地震・津波をベースに、最新の地形データや構造物データを反映したものです(高知県版予測)。

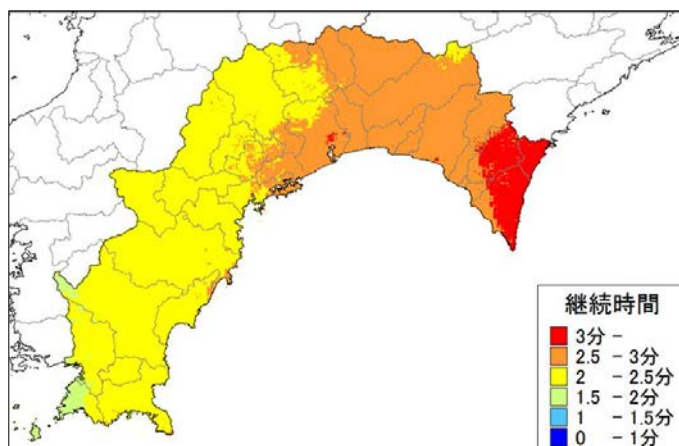
今後、県としては最大クラスの地震・津波は、高知県版予測を念頭に対策を進めます。

<地震の揺れの想定>

○震度分布図(震度7:26市町村、震度6強:8市町村)

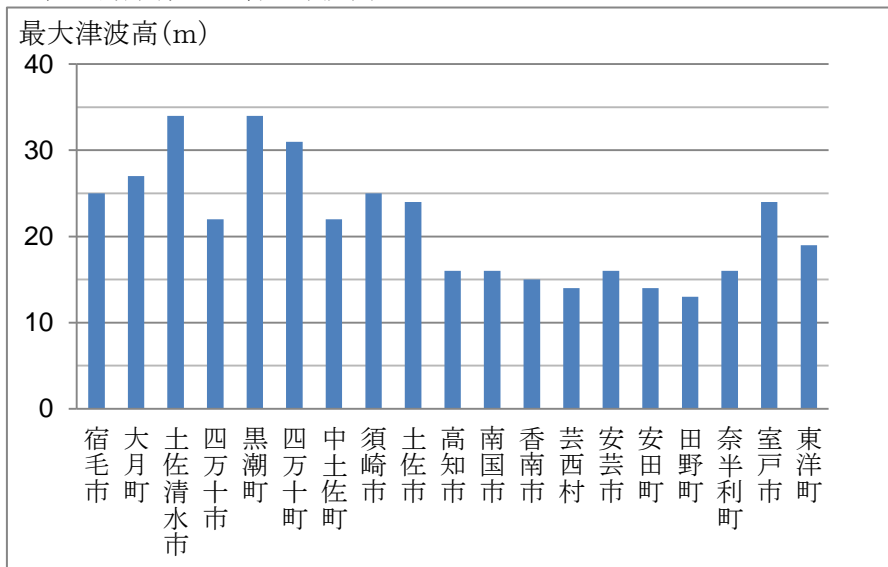


○地震継続時間分布図(体を感じる揺れ(震度3相当以上)の継続時間)

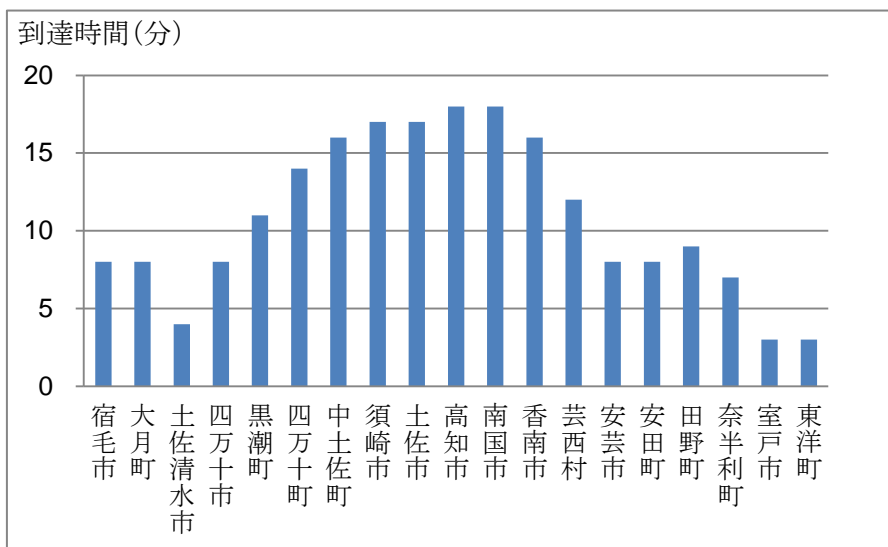


<津波・浸水の想定>

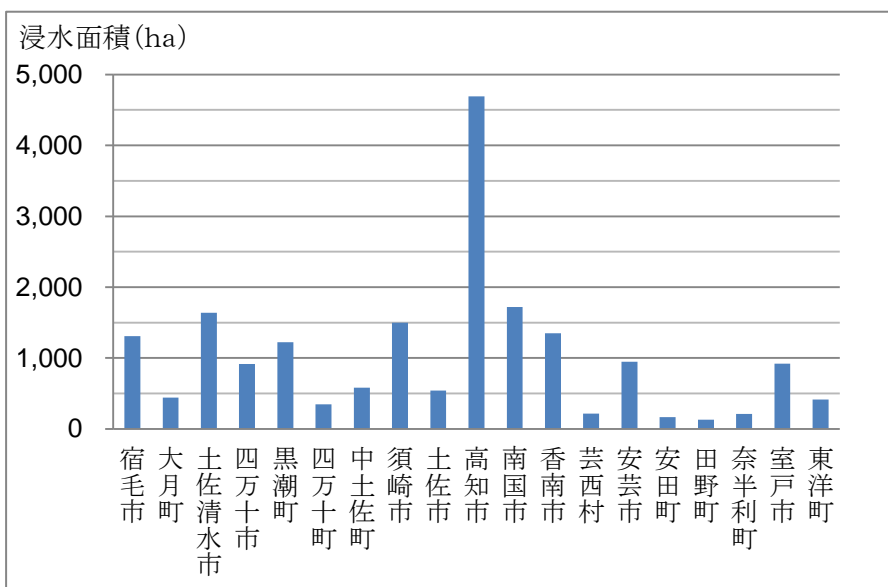
○各市町村の海岸線での最大津波高



○海岸線への津波（津波高 1 m）到達時間



○津波浸水面積（県全体の浸水面積 約 19,000ha、最大重ね合わせ浸水面積）



<人的・物的被害の想定（H25. 5 高知県）>

人的被害（死者数）が最大となるケースで想定

○地震・津波の設定
・揺れ：陸側ケース（高知県の直下で強い揺れが発生するケース）
・津波：ケース④（四国沖で大きな津波が発生するケース）
○時間・条件の設定
・時間帯：冬深夜
・住宅の耐震化率：74%
・津波早期避難率：20%

○死者数

揺れによる 建物倒壊	がけ崩れ	火災	津波	ブロック塀・自動販売 機の転倒、屋外落下物	合計
約 5,200 人	約 110 人	約 500 人	約 36,000 人	若干数	約 42,000 人

○負傷者数

揺れによる 建物倒壊	がけ崩れ	火災	津波	ブロック塀・自動販売 機の転倒、屋外落下物	合計
約 33,000 人	約 140 人	約 300 人	約 2,900 人	若干数	約 36,000 人

○避難者数

	1日後	1週間後	1か月後
避難所	約 280,000 人	約 243,000 人	約 127,000 人
避難所外	約 158,000 人	約 127,000 人	約 296,000 人
合計	約 438,000 人	約 370,000 人	約 423,000 人

○全壊建築物数

揺れによる 建物被害	火災による 建物焼失	がけ崩れによる 建物被害	液状化による 被害	津波による 建物被害	合計
約 80,000 棟	約 5,500 棟	約 710 棟	約 1,100 棟	約 66,000 棟	約 153,000 棟

○ライフライン被害数（被災直後）

上水道	下水道	電力	通信（固定電話）	ガス（都市ガス）
約 575,000 人	約 244,000 人	約 521,000 軒	約 217,000 回線	約 28,000 戸

イ 発生頻度の高い一定程度の地震・津波

本県では、これまで地震・津波対策の基礎資料として、平成 16 年 3 月にとりまとめた南海地震が単独で発生した場合の地震・津波予測と被害想定である「第 2 次高知県地震対策基礎調査」の結果を用いてきました。

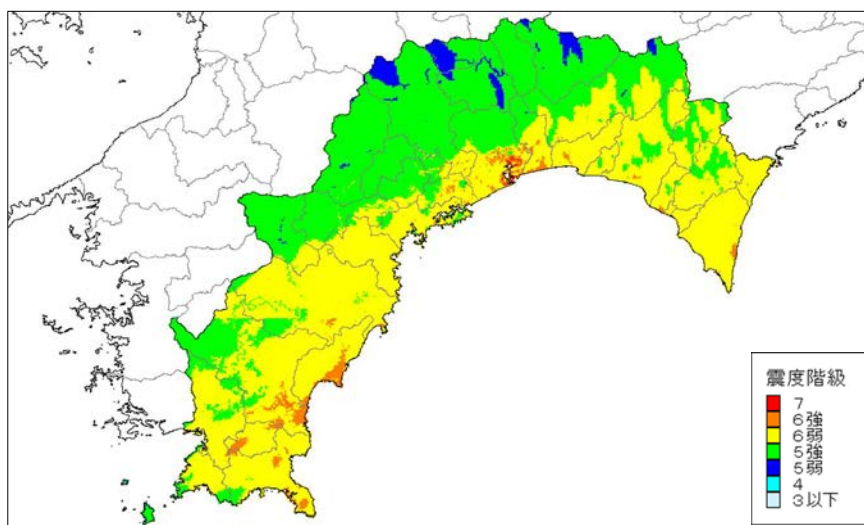
高知県版予測では、この地震・津波予測に最新の地形データや地盤の情報を反映し、再度推計を行いました。

今後、本県としては発生頻度の高い一定規模の地震・津波は、この再度推計した予測を念頭に対策を進めます。

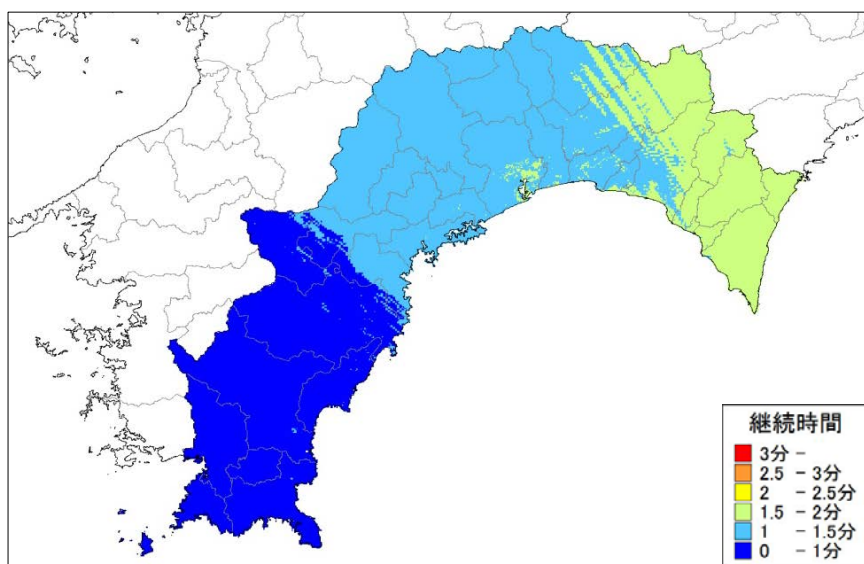
<地震の揺れの想定>

○震度分布図

(震度 7 : 3 市町、震度 6 強 : 15 市町村、震度 6 弱 : 10 市町村、震度 5 強 : 6 町村)

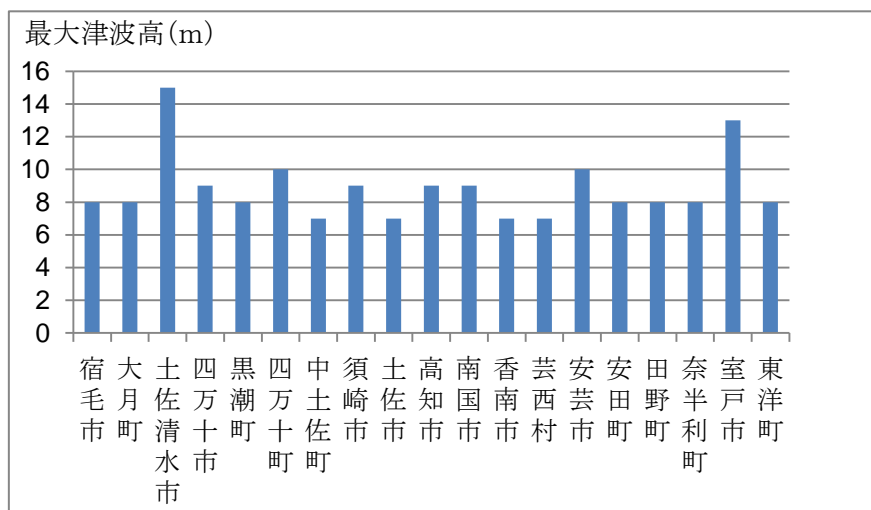


○地震継続時間分布図 (体に感じる揺れ (震度 3 相当以上) の継続時間)

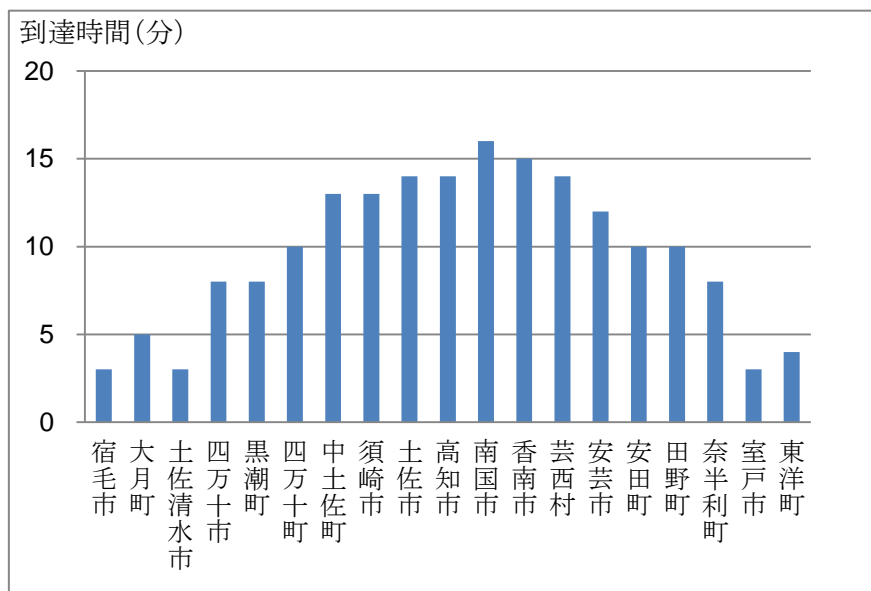


<津波・浸水の想定>

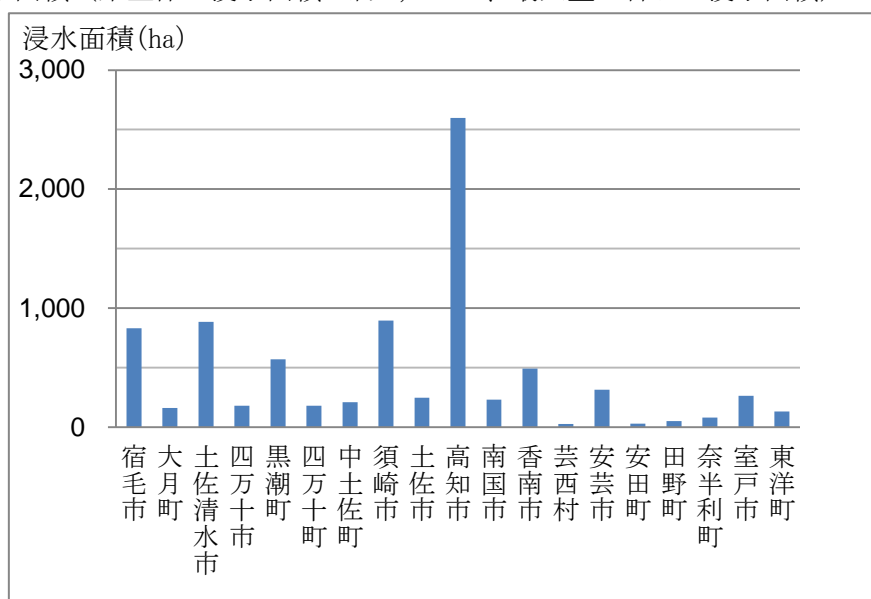
○各市町村の海岸線での最大津波高



○海岸線への津波（津波高 1m）到達時間



○津波浸水面積（県全体の浸水面積 約 8,400ha、最大重ね合わせ浸水面積）



<人的・物的被害の想定（H25. 5 高知県）>

○地震・津波の設定
・揺れ：想定南海地震（M8.4相当）
・津波：安政南海地震クラスの津波
○時間・条件の設定
・時間帯：冬深夜
・住宅の耐震化率：74%
・津波早期避難率：20%

○死者数

揺れによる 建物倒壊	がけ崩れ	火災	津波	ブロック塀・自動販売 機の転倒、屋外落下物	合計
約 940 人	約 20 人	約 30 人	約 9,900 人	若干数	約 11,000 人

○負傷者数

揺れによる 建物倒壊	がけ崩れ	火災	津波	ブロック塀・自動販売 機の転倒、屋外落下物	合計
約 12,000 人	約 30 人	約 90 人	約 2,000 人	若干数	約 14,000 人

○避難者数

	1日後	1週間後	1か月後
避難所	約 120,000 人	約 90,000 人	約 34,000 人
避難所外	約 65,000 人	約 56,000 人	約 79,000 人
合計	約 185,000 人	約 146,000 人	約 113,000 人

○全壊建築物数

揺れによる 建物被害	火災による 建物焼失	がけ崩れによる 建物被害	液状化による 被害	津波による 建物被害	合計
約 15,000 棟	約 3,000 棟	約 170 棟	約 1,100 棟	約 17,000 棟	約 36,000 棟

○ライフライン被害数（被災直後）

上水道	下水道	電力	通信（固定電話）	ガス（都市ガス）
約 439,000 人	約 234,000 人	約 360,000 軒	約 156,000 回線	約 40,000 戸